

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	農業水産課
課等の長	幸田 一線
エネルギー管理推進員	丸山 功一
課職員数	18名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	西俣野排水機場

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1)課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。 また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。</p>
(2)藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	A	<p>質問応答から、職員率先実行計画の認識について十分であると判断。 ただし、西俣野排水機場において、監査対象となっている項目では、実践できる取組があまりない認識とのこと。</p>
(3)エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	A	<p>使用量、増減率、理由の把握はされている。 電気使用量は台風など天候に左右される、全くコントロールできないとのこと。 上水道使用量は小さく、トイレ利用の部分。なお、施設赴任回数は、平成30年度が24回、令和元年度が12回程度。</p>
(4)エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	外的要因である天候の影響が大きい ため判定せず	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(5)によれば「削減目標を設定できない」とのこと。すべて台風など天候に左右されるため、ほかに削減できる余地があるか課内で確認したが、難しい状況であるという結論に達したという。もちろん排水機械は、簡単に高効率機へ更新できない。 エネルギー使用量をコントロールできる部分は、数灯しかない室内灯とトイレ上下水道だけで、しかも月1~2回程度の使用頻度。その削減効果もごく微量で、数字に反映できるレベルではないとのこと。</p>
(5)課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	B	<p>光熱水費の推移等は情報共有してないとのこと。 ただし、課内全体としては、土日出勤時は外光を積極的に取り入れ、公用車を運転する際には、エコドライブなど、課内周知に努めているとのこと。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	農業水産課
課等の長	幸田 一線
エネルギー管理推進員	丸山 功一
課職員数	18名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	西俣野排水機場

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	×	電気使用量はすべて台風など天候に左右される。機械類は常時、電力稼働。上水道使用量、トイレ利用にて発生(月1~2日程度の使用)。
		都市ガス	—	
		ガソリン	—	
		軽油	—	
		その他	×	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	(×)	排水機場だけみれば、電気使用量は台風など天候に左右され、全くコントロールできないとのこと。上水道使用量はトイレのみ、使用頻度も少なく、節エネルギー活動が反映されない数値である。唯一、改善できるとするならば室内灯で、予算措置があればとのこと。
		都市ガス	—	
		ガソリン	—	
		軽油	—	
		その他	(×)	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

()…判定せず。ただし、括弧内の結果については実績値として判定した場合の結果を記載

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	学校施設課
課等の長	西山勝弘
エネルギー管理推進員	木下尊人
課職員数	9名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれしていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。</p>
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	B	<p>質問応答から、職員率先実行計画の認識について十分であると判断。ただし、エコドライブに関する各項目を網羅して実践しているという評価までは至らず。また、実行計画の研修に参加した際、その内容を課内会議や回覧によって周知しているが、課員への意識啓発方法にはまだ改善の余地がある。</p>
(3) エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	B	<p>使用量、増減率、理由は、ある程度把握されている。ガソリン使用料32%増については、例年に比べて遠方の施設に行くことが多かったと捉えているが、詳しい分析までは至っていない。燃費の悪化も一因とのこと。</p>
(4) エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	D	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(4)には、削減目標数値および取組内容の記載なし。監査当日のヒアリングにて無記載の理由を聞いたところ、1%減という目標達成は現実的には厳しいので、との回答。ただ、削減目標の数値を設定し、使用量実績やその増減理由を把握し、取組の確認や見直しに繋げることが肝要と思われる。一方、取組内容については、ヒアリングにてエコドライブや公用車の同乗使用に努めて実践しているとのこと。</p>
(5) 課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	C	<p>使用量の削減目標や実績について、現状、共有していないとのこと。エコドライブなどの取組内容も含めて、担当職員および責任者のみの把握にとどまっている印象。節エネルギーに向けた情報共有や啓発に、多分の改善の余地を残している。今後、朝礼等を利用して、定期的に省エネルギー行動(エコドライブ10など)を実践していきたいとのこと。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	学校施設課
課等の長	西山勝弘
エネルギー管理推進員	木下尊人
課職員数	9名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	—	32%もの増加理由として、公用車利用して遠方の施設に行く機会が多かったとのこと。また、公用車の燃費の悪化も一因では、とのこと。
		都市ガス	—	
		ガソリン	×	
		軽油	—	
		その他	—	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	—	各課で様々な事情があるにせよ、現状、削減目標の数値設定をせずに、要因分析もやや曖昧で、周知や啓発も不足しているため、継続的にエネルギー使用量を削減していくことは難しいと言わざるを得ない状況である。 ただし、少なくとも責任者や担当者レベルで、公用車の現状の燃費レベルの把握やエコドライブの実践が確認でき、課内へ広がってエネルギー使用量の削減につながることを期待したい。
		都市ガス	—	
		ガソリン	×	
		軽油	—	
		その他	—	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	辻堂浄化センター
課等の長	真間伸一
エネルギー管理推進員	関野修二
課職員数	9名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	辻堂浄化センター

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。 また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。</p>
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	A	<p>質問応答から、職員率先実行計画の認識について十分であると判断。 各取組項目を周知実践しているなかで、課員から「夜間の水処理に係る設備の運用台数を減らしてはどうか」との意見があり、実践につなげるなど、積極的な行動が確認できた。</p>
(3) エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	A	<p>使用量、増減率、理由の把握はされている。 電気、都市ガスともに、増減率は基本的に1%程度で推移しているとのこと。天候の影響を受けやすいが、例年大きな変動はないとのこと。</p>
(4) エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	外的要因である天候の影響が大きい ため判定せず	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(4)によれば「具体的な数値の設定なし」とのこと。雨水量によりエネルギー使用量が変位する難しい事情を抱える。 ただし、浄化センターは省エネ法で「エネルギー管理指定工場等」に位置付けられていることから、やはり目標数値を掲げ、少しでも省エネルギーを進めようとするのが望ましい。また、主要機械の高効率機への更新は困難であるが、例えば、施設棟の照明にかかる使用エネルギー量を把握し、もし一部をLED化した場合はどのくらい省エネ効果があるのか、分析を進められたい。</p>
(5) 課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	A	<p>実績について、月次で維持管理報告書で周知し、変動要因についても確認・共有している。 ただし、啓発面では改善の余地を残しており、今後、標語やスイッチ付近への表示など検討していくとのこと。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表(環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	辻堂浄化センター
課等の長	真間伸一
エネルギー管理推進員	関野修二
課職員数	9名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	辻堂浄化センター

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	△	電気、都市ガス使用量の大部分が、雨水量により相応して変動する。 施設面では、本部棟は新しいためLED等の高効率機器が配されているが、処理施設は広大で古く、高効率設備への切り替えは予算上なかなか難しいが、小型ポンプなど、できるところは省エネに配慮して更新しているとのこと。
		都市ガス	△	
		ガソリン	—	
		軽油	—	
		その他	—	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	(△)	エネルギー使用量の大部分が、雨水量により相応して変動する難しい事情を抱えているが、浄化センター単独で省エネ法における「エネルギー管理指定工場等」に位置づけられていることもあり、一層の節エネルギーに期待したい。 職員の節エネルギー意識は高いので、細かな「節約」の一層の推進にも期待。
		都市ガス	(△)	
		ガソリン	—	
		軽油	—	
		その他	—	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

()…判定せず。ただし、括弧内の結果については実績値として判定した場合の結果を記載

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	湘南大庭市民図書館
課等の長	市川 雅之
エネルギー管理推進員	及川 絹恵
課職員数	41名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	①湘南大庭市民図書館 ②公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。 A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれていない。 D…把握していない。	A	事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。 また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。 A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。	C	事前提出のヒアリングシート監査項目(2)に記載されているように、認識しているとのこと。「こまめ」な節エネルギー行動を積極的に取り組んでいることは評価できる。 ただし、監査当日のヒアリングによれば、具体的な内容への理解は十分とは言えず、職員率先実行計画については存在を認識している程度という印象。
(3) エネルギー使用量の把握と分析	エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。 A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。	B	事前提出のヒアリングシート監査項目(3)および監査当日のヒアリングから、使用量、増減率、理由をある程度把握していると判断。 ただし、電気の増減理由や、これまで実践してきた節エネルギー行動の効果測定分析は、やや曖昧な印象。
(4) エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。 A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。	C	率先実行計画の使用量前年度比1%の削減目標は認識している。 しかし、事前提出のヒアリングシート監査項目(4)の取組内容において、「使用していない場所の消灯(電気)」「空調の温度設定(都市ガス)」「不記載(ガソリン)」とあるが、監査当日のヒアリングを踏まえても、節エネルギー行動の把握や取組内容が具体的であるという評価に至らなかった。 本の管理や市民のニーズに配慮しなくてはならない特殊な事情はあるが、空調以外に電気はどこで使われているのか、エコドライブの内容は何かなどを再確認して、具体的な節エネルギー行動を進めてほしい。
(5) 課内周知	課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。 A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。	B	毎月の公共料金および公用車の使用量等の報告の決裁を担当内で行っているとのこと。周知方法に改善の余地を残すが、今後、朝礼等の機会を利用したり、月次での実績報告の機会を用意したり、周知方法を検討するとの回答。

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	湘南大庭市民図書館
課等の長	市川 雅之
エネルギー管理推進員	及川 絹恵
課職員数	41名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	①湘南大庭市民図書館 ②公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	○	電気使用量の大幅削減は、図書館利用者フロアの照明をLEDに変更した効果大きい。 都市ガス使用量の増加は、一昨年度(平成30)11、12月が暖冬で極端に使用量が少なかったためとのこと。 ガソリン使用量の急増は、南館移転に伴う使用回数が増加したため。
		都市ガス	×	
		ガソリン	×	
		軽油	—	
		その他	—	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	○	電気において、LEDへの切り替えが進んだうえ、そもそも館内での職員の節電意識が高く、一層の削減に期待。 都市ガス、ガソリンの昨年度使用量の増加要因も特殊事情の影響による部分が大きく、「こまめな節約」の一層の推進に期待。
		都市ガス	△	
		ガソリン	△	
		軽油	—	
		その他	—	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称
課等の長
エネルギー管理推進員
課職員数
対象施設等

環境事業センター
手塚 富美雄
佐藤 謙一
76名(非常勤・臨時職員等含む)
①環境事業センター ②公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれしていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。</p>
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	C	<p>監査当日のヒアリングによれば、朝礼や課内会議では、「1%減」という目標を反復して伝えているという。ただ、環境部としては「課員等の認知度は70~80%程度」「課員等からの意見は特にない」やや寂しい状況か。職員率先実行計画については存在を認識している程度という評価に留めた。</p>
(3) エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	B	<p>使用量、増減率、理由の把握はなされている。ただし、増加率では相殺されて見えにくい節エネルギー(昨年度実施した節エネルギー効果)の測定や分析が曖昧な印象。</p>
(4) エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	B	<p>率先実行計画の使用量前年度比1%の削減目標は認識している。取組内容も具体的になっているが、稼働日数や猛暑厳冬に左右される部分が大きく、加えて施設の老朽化も足かせとなっている。</p>
(5) 課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	B	<p>朝礼や課内会議で削減目標を示し、事務所のこまめな消灯や収集車両の運転について燃料の節減ができるような優しい運転に心がけるよう周知しているという。月次で実績と目標を示していくなど、より徹底していきたいとのこと。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	環境事業センター
課等の長	手塚 富美雄
エネルギー管理推進員	佐藤 謙一
課職員数	76名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	①環境事業センター ②公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	×	電気・都市ガスの使用量増加の主要因は、昨年度が猛暑であったこと。施設の老朽化や稼働日数増加の影響もある。軽油の使用量増加の主要因は、パッカー車(27台)の稼働日数の増加。
		都市ガス	×	
		ガソリン	—	
		軽油	△	
		その他	—	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	○	次年度にセンター移設。高効率機器の導入で省エネは大幅に進展する見通し。照明に人感センサーが敷設される予定だが、節エネルギーの啓発は継続強化していく予定。収集車両のエコドライブの啓発もより進めたいとのこと。
		都市ガス	○	
		ガソリン	—	
		軽油	△	
		その他	—	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	西北部総合整備事務所
課等の長	八文字 弘行
エネルギー管理推進員	水野 智仁
課職員数	13 人(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	公用車 4台

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれしていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。 また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。</p>
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	B	<p>質問応答から、職員率先実行計画の認識について十分であると判断。 「網羅した取組」という評価までは至らないが、監査対象となるガソリンに対して、エコドライブや公用車の同乗使用を実践。</p>
(3) エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	A	<p>質問応答から、使用量、増減率、理由の把握はなされていると判断。 公用車の導入時期、稼働状況(稼働率、燃費など)を詳しく把握。同型式で稼働状況が同程度の一般的な自動車の状況を、インターネットの情報やカタログで確認しているとのこと。</p>
(4) エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	B	<p>率先実行計画の使用量前年度比1%の削減目標は認識している。 取組内容も具体的になっているが、目につくところにエコドライブを奨励するシールを張るなど、課内啓発活動にはまだ改善の余地が残る。</p>
(5) 課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	B	<p>所内会議で周知しているとのこと。所員からの意見や要望までは出てこないが、意識の醸成は見られるという。ただし、周知や状況共有の機会増加、定期化が求められる。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	西北部総合整備事務所
課等の長	八文字 弘行
エネルギー管理推進員	水野 智仁
課職員数	13 人(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	公用車 4台

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)	監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	優先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	—
		都市ガス	—
		ガソリン	×
		軽油	—
		その他	—
(4)エネルギー使用量削減のための取組	優先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	—
		都市ガス	—
		ガソリン	△
		軽油	—
		その他	—

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	湘南台保育園
課等の長	関 紀子
エネルギー管理推進員	矢野利季
課職員数	30名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	湘南台保育園

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれしていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>質問応答から、職員率先実行計画の認識について十分にあると判断。「網羅した取組」という評価までは至らないが、園独自の環境目標を定め、省エネルギーを呼びかける啓発用語がいたる事務室に掲示されていた。節エネルギーに向けた細かな取り組みが実践されている印象。</p>
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	B	<p>質問応答から、職員率先実行計画の認識について十分にあると判断。「網羅した取組」という評価までは至らないが、園独自の環境目標を定めて事務室に掲示して、4半期ごとにエネルギー使用状況をミーティングにて職員同士で情報共有している。節エネルギーに向けた細かな取り組みが実践されている印象。</p>
(3) エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	B	<p>監査当日のヒアリングによれば、電気・都市ガスともに増減要因は空調によるところが大きく、昨年度は、夏の酷暑、冬の厳冬の影響が大きかったという。ただし、より踏み込んだ増減理由の把握、分析において、やや曖昧な印象。</p>
(4) エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	B	<p>率先実行計画の使用量前年度比1%の削減目標は認識している。空調や照明では、節エネルギーに配慮した細かな取り組みが実践されている。事務室では、扇風機の使用により空調の効率アップに努め、照明の間引きも園児・職員の安全衛生に配慮しつつ適宜検討するとのこと。</p>
(5) 課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	A	<p>子どもに対する環境教育を積極的に行っていることもあり、職員の節エネルギーへの意識は高い。4半期ごとにエネルギー使用状況をミーティングにて職員同士で情報共有している。エネルギー使用量の結果等を報告共有する機会をより増やしたいとのこと。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	湘南台保育園
課等の長	関 紀子
エネルギー管理推進員	矢野利季
課職員数	30名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	湘南台保育園

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	△	増加要因は、電気・都市ガスともに空調によるところが大きい。昨年度は、夏の酷暑、冬の厳冬の影響が大きかったとのこと。
		都市ガス	△	
		ガソリン	—	
		軽油	—	
		その他	—	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	△	大切な園児を預かっていることもあり、節エネルギーには様々な制約が生じてしまう。エネルギー関係設備の老朽化も目立ち、調理場の設備更新はなかなか難しいが、照明はLEDに更新することも検討中。職員の意識が高く、「こまめな節約」の一層の推進に期待。
		都市ガス	△	
		ガソリン	—	
		軽油	—	
		その他	—	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表

【実施課等の情報】

課等の名称	環境総務課
課等の長	山口 剛
エネルギー管理推進員	山下 祐二
課職員数	17名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	公衆便所・公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(A~D)	監査員メモ
(1) 課等における環境負荷の認識	<p>照明・空調等の電気の使用やガスの使用、公用車でガソリンの使用等、自課の環境負荷のあるものを認識しているか。</p> <p>A…すべて認識し、使用機器などの割合も把握している。 B…おおよそ認識し、使用機器なども把握している。 C…把握しきれしていない。 D…把握していない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(1)を見ても、環境負荷機器類の使用状況を可能な限り把握しており、十分な認識があると判断。また、「どのような場合に設備への負荷がかかるのか」といった質問にも適切に回答。</p>
(2) 藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	<p>計画期間や削減目標を認識し、実践しているか。</p> <p>A…計画期間や目標を認識し、実践では各取組項目を網羅している。 B…計画期間や目標を認識し、各取組項目を実践している。 C…率先実行計画の存在は認識している。 D…率先実行計画を知らない。</p>	A	<p>事前提出のヒアリングシート監査項目(2)および質問応答から、とくにガソリン使用量において、計画期間や削減目標を認識し、実践している。また、今回の監査対象とはなっていないが、課内エリアにおいて、空調・照明等の節エネルギーに向けた細かな取り組みが実践されている。職員率先実行計画の策定担当課という立場であり、網羅的に取り組まれている。</p>
(3) エネルギー使用量の把握と分析	<p>エネルギー使用量の増減を把握し、増減理由(原因)を的確に分析しているか。</p> <p>A…使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできている。 B…使用量、増減率、理由は把握しているが、分析があいまい。 C…使用量、増減率は把握しているが、理由が不明。 D…把握できていない。</p>	A	<p>監査当日のヒアリングや事前提出のヒアリングシート監査項目(3)から、使用量、増減率、理由すべて把握し、分析までできていると評価。</p>
(4) エネルギー使用量削減のための取組	<p>率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか。</p> <p>A…数値を設定し、内容も具体的ですべて取り組まれている。 B…数値を設定し、内容も具体的になっている。 C…目標はあるが、数値まではたてられていない。 D…目標がたてられていない。</p>	A	<p>監査対象の公衆便所の電気使用量については、人感センサーを設置するなど照明の消灯を進めるとのこと。ガソリン使用量については、エコドライブ、乗り合いをさらに進めるとのこと。また、エネルギーの「地産地消」の実践であるEVの優先的利用など、具体的に取り組まれている。</p>
(5) 課内周知	<p>課内会議や回覧等で、率先実行計画の周知やエネルギー使用状況、使用量削減の目標値の共有が図られているか。</p> <p>A…課内周知が図られており、全員が把握している。 B…課員複数名が把握している。 C…担当職員のみ把握している。 D…把握していない。</p>	B	<p>職員率先実行計画の策定担当課という立場もあって、積極的な周知啓発が行われている印象。削減目標を見据え、削減実績を毎月把握、朝礼にて周知を行っているとのこと。ただし、環境マネジメントシステムの事務局としての課であることを考慮すると、朝礼での周知のみでは不十分な点もあると考えるため、今後の期待もこめて、あえてB判定とする。</p>

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 採点表 (環境パフォーマンス)

【実施課等の情報】

課等の名称	環境総務課
課等の長	山口 剛
エネルギー管理推進員	山下 祐二
課職員数	17名(非常勤・臨時職員等含む)
対象施設等	公衆便所・公用車

【監査項目】

項目	項目別評価	判定(○・△・×)		監査員メモ
(3)エネルギー使用量の把握と分析	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標が実行できているか。	電気	×	公衆便所の電気使用量で、照明使用時間の増加によるとのこと。昨年度の実績は他課の管轄時のもの。 EV導入により、ガソリン車の稼働が減って大幅に達成。
		都市ガス	—	
		ガソリン	○	
		軽油	—	
		その他	—	
(4)エネルギー使用量削減のための取組	率先実行計画に設定している使用量前年度比1%の削減目標に準じているか。取組内容に掲げている内容は1%削減が実現できるものか。	電気	○	公衆便所の電気使用量については、人感センサーを設置するなど照明の消灯を進めるとのこと。昨年度から公衆便所の電気使用量が所管となるため、今後の取り組みに期待。 昨年度のガソリン使用量の大幅減はEV導入の影響が大きいので、エコドライブ、乗り合い、EV車の積極的利用をさらに強化されたい。
		都市ガス	—	
		ガソリン	○	
		軽油	—	
		その他	—	

※判定基準

○…達成できている

△…達成できていないが、取組を実施し努力が認められる

×…達成できていない